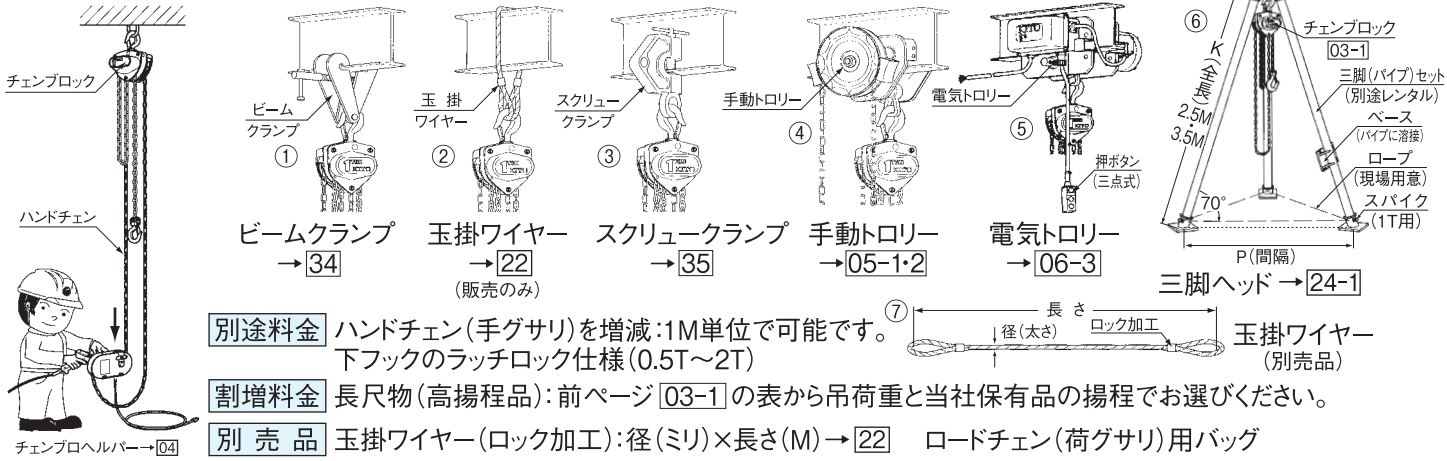


使用例 チェンブロックとの使用例ですので別途レンタルや別売品になります。



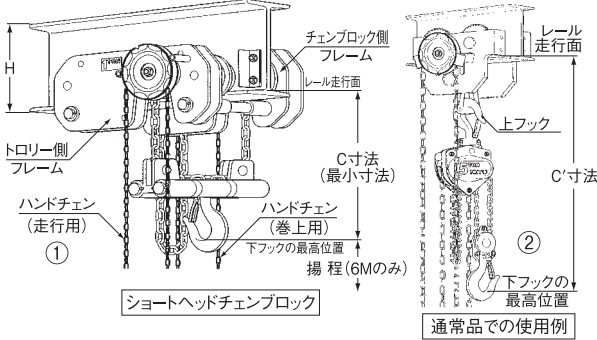
別途料金 ハンドチェン(手グサリ)を増減:1M単位で可能です。^⑦ 下フックのラッチロック仕様(0.5T~2T)
割増料金 長尺物(高揚程品):前ページ [03-1] の表から吊荷重と当社保有品の揚程でお選びください。
別売品 玉掛ワイヤー(ロック加工):径(ミリ)×長さ(M)→[22] ロードチェン(荷グサリ)用バッグ

チェンブロックとギヤトローリーを一体化してC寸法(レールの走行面から下フックまでの寸法)を最小にしております。

03-2 ショートヘッドチェンブロック(手動式)

注文時 ①吊荷重(T) ②レール巾(ミリ)

- まこれだけ**
- 揚程(吊り代)は6Mのみで他の揚程の物はありません。従ってハンドチェン(巻上用と走行用)も通常6Mです。
 - チェンブロック単体(トローリーなし)のショートヘッドタイプはメーカーも作っておりません。
 - レール巾の変更は大変手間が掛かりますので必ず前もって巾を確認してから注文してください。
 - レール巾は通常下表にある()内の寸法で在庫していますが指定があれば他のサイズに調整します。



特長と取付方法

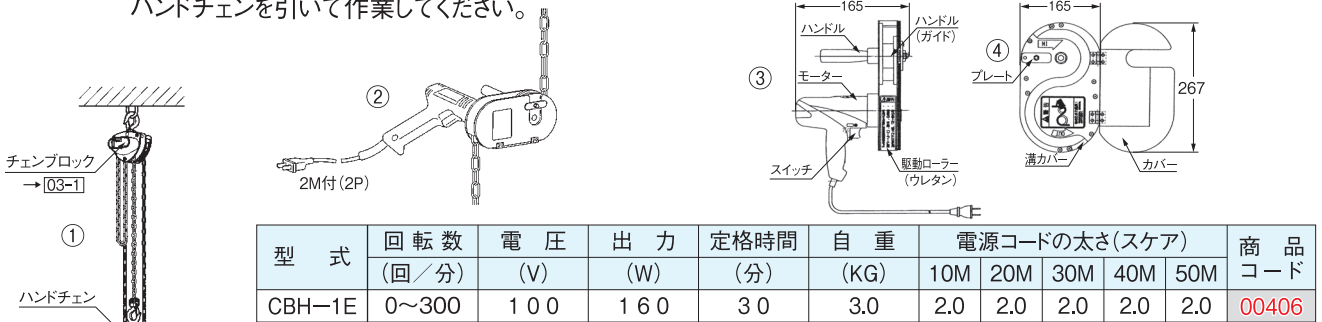
- 通常のトローリーとチェンブロックの組合わせ②に比べてショートヘッド①ならばずっと小さなC寸法になります。
- 下フックがレールの下面いっばいまで上昇するのでレール下のスペースを大きくしたい場合に有効です。
- ハンドチェンの長さは巻上用も揚程と同じ6Mです。
- 取付はレールの端部から結合状態のまま入れるのが望ましいのですが、もしそれができない場合はチェンブロック側のフレームをシャフトから外し、トローリー側のフレームを先にレールの走行面に乗せてからチェンブロック側のフレームを寄せて再組立してください。

吊荷重 (T)	揚程(固定) (M)	自重 (KG)	C(最小寸法) (ミリ)	通常品のC寸法 参考(ミリ)	型式	適応レール巾(ミリ)		レール最低必要高 H(ミリ)	ロードチェン 径(ミリ)×掛数(本)	商品 コード
						標準品	巾広品(別塗)			
1.0	6.0	71	115	305	SHB-010	75・100・(125)	150~200	150	5.0×2	00353
2.0	6.0	113	145	380	SHB-020	100・125・(150)	175~250	200	7.1×2	00355
3.0	6.0	164	165	535	SHB-030	125・150・(175)	190~300	200	8.0×2	00356
5.0	6.0	276	195	660	SHB-050	125・150・(175)	190~300	250	9.0×2	00357
10.0	6.0	358	255	860	SHB-100	150・175・(190)	200~300	300	9.0×4	00359

別途料金 ハンドチェン(巻上用と走行用)を増減:1M単位で可能です。但し揚程は6Mで、変更はできません。(メーカー:キート)
 巾広仕様:標準巾より広くする。但しこの組替えは大変手間が掛かりますので早めに注文してください。
 再セット料:一度セットしたレール巾を再変更する場合は再セット料として1日分の料金が掛かります。

04 チェンプロヘルパー(ハンドチェン早送り装置)

注意 空荷の巻き上げ、巻き下げの時にしか使用できません。加重(負荷)の場合には通常通り、手(人力)でハンドチェンを引いて作業してください。



運転開始

Aの状態にして、スイッチをONにします。ハンドチェンの速度調整はチェンプロヘルパーの傾斜角度を徐々に変えることによって行い、A→B→Cの順に速くなります。

運転終了

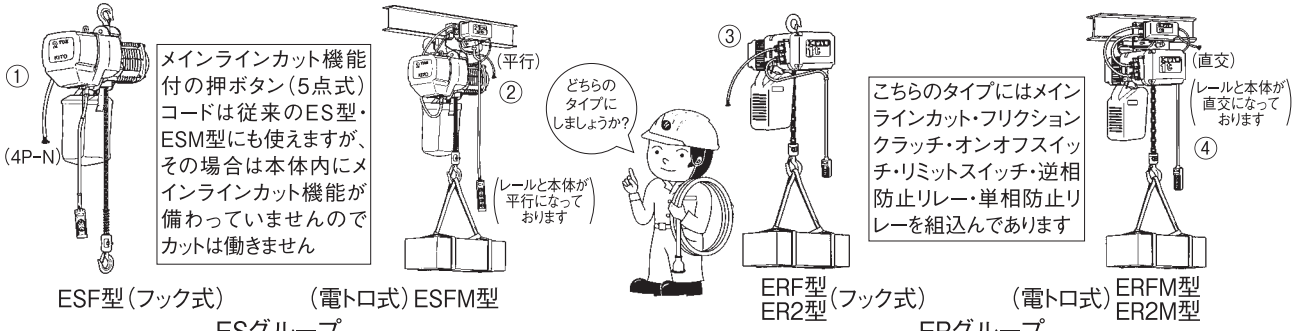
徐々にAの状態に戻してからスイッチをOFFにします。

ショートヘッドチェンブロック

チェンプロヘルパー

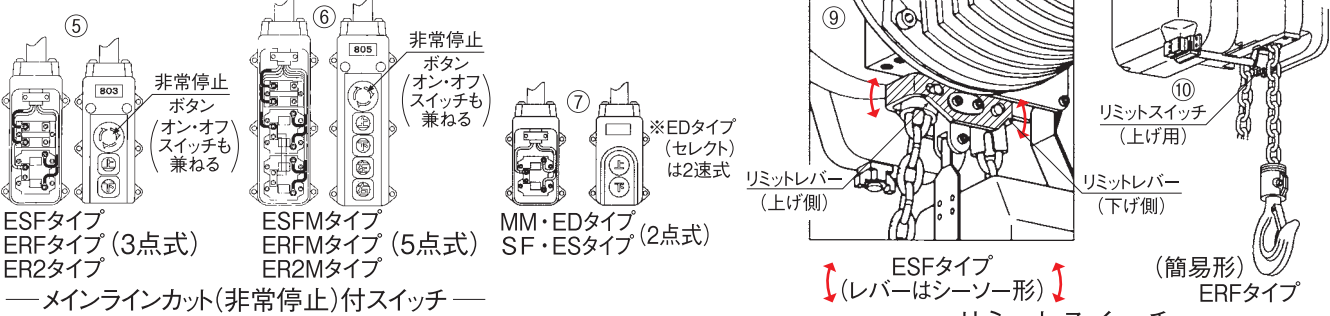
06-4 エクセル(200V)の種類・ショートヘッドタイプ

※当社保有の200V用電気チェーンブロック(エクセル)にはESFタイプとERFタイプとER2タイプの3種類があります。比較すると下表の通りですが、特にエレベーター関係の工事にはESFタイプとERFタイプが使われる事が多くなりました。



タイプ	保有品	メインラインカット	フリクションクラッチ	オン・オフスイッチ	リミットスイッチ	逆相防止リレー	単相(欠相)防止リレー	2.8T用のチェーン掛数	備考
ESF	○	○	×	○(メインラインと兼用)	上限・下限	○	○	2本	改良品
ERF	○	○	○	○(メインラインと兼用)	上限(10T・20Tは下限も)	○	○	1本	おすすめ
ER2	○	○	○	○(メインラインと兼用)	上限・下限	△	△	2本(非保有)	新品

- ※△印はメーカー品に当社で追加した仕様です。
- メインラインカット：非常停止ボタンが上下ボタンの上であり、イン칭ング[19-3-7]等によりマグネットに何かあった時でもこのボタンを押すと分電盤まで行ってブレーカーを切ら(下げ)なくても手元でモーターの回転を遮断できます。原因を調べた後に復帰させるには停止ボタンを矢印(右)方向に廻します。
 - フリクションクラッチ：オーバーロード(過荷重)や地球吊り・過巻時・過下時にモーターを空転させます(ストップではありません)。それによりモーターの焼損やボディの破損を防ぎます。但し5秒以上廻し続けると本体内部の油温が上がりブレーキの効きが悪くなりますので押し続けしないでください。
 - オン・オフ(入・切)スイッチ：不使用時に押しおけば、間違っても上下スイッチを押しても機械は作動しませんので安全です。復帰させるには一番上のボタンを矢印(右)方向に廻します。電気チェーンブロックではメインラインカットのボタンと兼用になっています。
 - 上限リミットスイッチ：下フックが上昇してリミットレバーに当たるとモーターが停止しますが多用はしないでください。
 - 下限リミットスイッチ：荷を下げてチェーンの端部(ストッパー)が上昇し、リミットレバーに当たるとモーターが停止しますが多用はしないでください。
 - 逆相防止リレー：電源コードの分電盤への配線が逆相になっている場合は本体に内蔵されているNRIリレー(本体カバー内のマグネットの上にある)が機能してモーターが廻りません。上げも下げもしません。対応としては分電盤で電源コードの◎と◎を交換してください。メーカーの言う正相と電力会社の言う正相は位置が異なる事が多いためこの状態は初回配線時に多く(2回に1回)起こります。これで直れば大丈夫です。
 - 単相(欠相)防止リレー：始動前の分電盤への配線3相(活線3本と別にアース1本ありますが)の内1相(活線の1本)以上が外れていたり、締め付けが不完全な場合は単相(欠相)状態となり、本体に内蔵のNRIリレーが機能してモーターが廻りません。それによりモーターの焼損を防ぎます。対応としてはその部分を正常に結線しておいてください。結線しても廻らない時は、上の項目6の逆相も考えてください。直るはずですが、但し運転中にコードが外れた場合はこのリレーは機能しませんのでモーター焼損等が起こります。
 - C寸法(最小寸法)：電気チェーンブロックのフック式なら上下フック間の最小寸法を言い、トロリー式ならレール走行面から下フックまでの最小寸法を言います。数字が小さいほど上まで吊上げられる事に有利です。
 - ロードチェン(ニグサリ)の掛(本)数：2.8TのESF・ER2タイプはチェーンが2本掛(ダブル)ですが、ERFタイプだけはチェーンが1本です。こちらの方が便利と言われる方がおられます。2本以上の物はチェーンのトンボ(宙返り)に注意してください。[106-6]の図8



ショート(ロー)ヘッドタイプ 電気トロリー式のみ(別料金体系)

定格荷重(T)	型式(電気トロリー式)	適応レール巾(ミリ)	揚程が6Mの時の各部寸法(ミリ) (種)		
			c	d	b
1.0(0.75)	SHEFSM010S	100-125	425	745	721
	SHERFM010S		350	620	734
2.0(1.50)	SHEFSM020S	125-150	520	840	803
	SHERFM020S		465	800	826
2.8(2.25)	SHEFSM028S	125-150	610	840	842
	SHERFM028S		580	820	902

- ショートヘッドの2.8T用のみチェーンは2本掛になります。
- ショートヘッドの巾広仕様は別途問い合わせてください。
- 現場での使用荷重は()内の数字までがおすすめです(約75%)
- 揚程は6Mが標準ですが、増減する事もできます。
- ギヤトロリー式・プレントロリー式はありません。
- トロリーと本体は分離できません。

ERF型の電気トロリー付(ERFM型)
 で高揚程になるとチェーンの重さで鉄バッグが傾いてしまつて(右側の図)下フックで鉄バッグを破損してしまう事が多くなります。左側の図の様にプレントロリー(1T用)にレバーストップブロック(0.5T用)を引掛けて鉄バッグを吊ってバランスを取ります。この方式を別途レンタルですがPセットと言います。

別途レンタル Pセット(鉄バッグ吊り)
 プレントロリー+レバーストップブロック等一式(P-010型) (LB-005型)

